MITSUBISHI MATERIALS

V10000取扱説明書

1．インサート締結方法に関して

〇エアーブロー、ハケなどを使って、カートリッジのインサート座を清掃し、異物等取り除いて下さい。
〇インサートの背面、側面を丁寧に吹いてください。
〇インサート締結の際は、かるくインサートを押さえながら座面に取り付け、ネジには必ず焼き付き防止剤を塗布し締め付けてください。（推奨クランプトルクは、右表参照のこと）
〇インサート座面に隙間が無いことを確認の上、御使用ください。

推奨クランプトルク

部品	クランプトルク [N・m] / [Kgf・cm]
HBH06016	8 / 81.6
HBH04008	2 / 20.4
CS350790T	3.5 / 35.7

2．インサート刃振れ調整方法に関して

・本カッタは出荷時、検査用インサートを用いて5μm以内の振れでセットしております。製品インサート搭載時、刃振れ調整をお客様自身で行う場合は、下記手順にて調整ください。
〇まず、1の方法でインサートを締結します。（図1）
〇カートリッジの仮締めを行います。仮締めのトルクは上記推奨トルクの半分にしてください。（図2）
仮締め時にクランプトルクがばらつくと、本締めでの刃先の振れが大きくなるので、御注意ください。
〇切れ刃の高さが一定になるように、調節ネジで調節します。（図3）
〇カートリッジの本締めをします。右上表の推奨トルクで締結してください。（図4）
（推奨トルクを守らず高回転で御使用された場合、破損等発生する可能性もあるので御注意ください。）


図1


図2


図3


図4

3．バランスに関して

〇本カッタは、インサート以外の部品をセットした状態でISOバランス等級G6．3にバランス調整しております。バランスを崩さないため、ボディ外周におけるバランス調整ネジの操作をしないようお願いします。
〇カートリッジを入れ替えた場合、バランスが変化します。右表以上の回転数でお使いの場合は、再バランス取りをメーカに依頼してください。ただし、Ø125については最大回転数内の御使用ではバランス取りを必要としません。

カッタ径	再バランス回転数[min^{-1}]
Ø63	17,000
Ø80	14,500
Ø100	14,000
Ø125	最大回転数まで再バランス不要

4．御使用上の注意

〇本製品には、純正部品を御使用下さい。純正以外の部品をお使い頂いた場合、性能が低下し、安全上の問題が発生する可能性があります。
〇カッタボディを誤ってぶつけた場合、破棄処分にしてください。そのまま使用した場合、破損する可能性があります。
〇必ずカタログ記載の最大回転数以下で御使用ください。
〇インサート切刃部は、非常にシャープに出来ており危険です。インサート取り付け・取り外し時は、必ず保護具等着用願います。